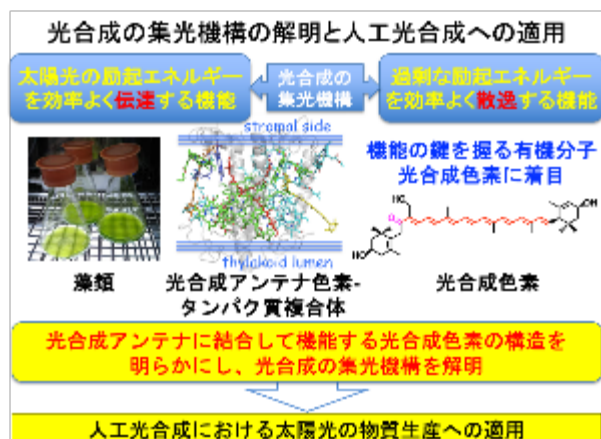


生体エネルギー論研究部門の紹介

大阪市立大学人工光合成研究センターの部局化に伴い、2020年4月1日から藤井律子准教授と池山秀作特任助教が「生体エネルギー論 (Bioenergetics) 研究部門」に所属することになりました。この部門では、生体に特有の高効率なエネルギー変換・物質変換の分子メカニズムを解明し、エネルギー生産システムへの活用を見出す研究を進めています。

現在は、光合成の高エネルギー物質生産系を駆動するために、太陽光エネルギーを励起エ

大型海藻を微細形態で浮遊培養する「陸上養殖」システムとする「光合成アンテナ色素タンパク質複合体」の機能と構造に着目し、特に海の中の青～緑色の光を活用して生育する海洋藻類の栽培からタンパク質・色素の改変、構造解析に取り組んでいます。また生体のエネルギー変換機構を生体外で模倣し、物質生産に結びつける研究も進めています。新体制で行われる今後の融合研究の展開にどうぞご期待ください。



「人工光合成研究拠点事業」における「新しい生活様式」に基づく活動

人工光合成研究センターにおける研究活動は、新型コロナウイルス (COVID-19) の影響でしばらく停止しておりましたが、6月より段階的に再開しています。マスクの着用、三密を避ける実験形態、手洗いと手指の消毒の徹底に加え、施設利用者を登録する「研活くん」システムの導入という感染拡大防止対策をとった「新しい生活様式」に基づく研究活動の再開です。

これに伴い、今年で五年目になりました「人工光合成研究拠点事業」の中核をなす共同利用・共同研究につきましても、近日中に公募を開始する予定ですので、ご期待ください。

また、定期的に開催しておりました人工光合成に関する講演会につきましても、WEB会議システムを活用した「新しい開催様式」で7月より再開する予定です。

今後もホームページ、Facebook を活用し、人工光合成に関する情報を積極的に発信できるよう体制強化を進めて参ります。人工光合成に関する書籍コーナーもできました。感染拡大防止策を徹底し、的確な情勢判断に基づいた施設利用とはなりますが、お立ち寄りの際にはぜひご活用ください。

人工光合成研究拠点の最新情報はこちらのFacebookからどうぞ。

<https://www.facebook.com/RECAPOSACUA>
CJP

(今月の担当は藤井律子准教授でした)

人工光合成研究拠点 ニュースレター
第5巻・第4号 2020年7月20日発行
発行責任者: 天尾豊 (大阪市立大学人工光合成研究センター所長)
編集責任者: 吉田朋子 (同副所長)
<http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index.html>